

『塵劫記』刊行 400 年記念第 2 回シンポジウム

主催 日本数学史学会

じんこうき

令和 9 年(2027)は吉田光由が『塵劫記』を刊行して 400 年になります。寛永 4 年(1627)に作られたこの算術書は、江戸時代だけでなく現代人の心を弾む知的で魅力的な問題に溢れていました。なかでも継子立ての遊戯問題をはじめとして、鼻紙で木の高さを量る測量問題(左図参照)やねずみ算問題などは測量術や計算技術習得の初歩として歓迎されたものです。その一方で、江戸時代初期の国際貿易の事情を反映した題材も登場していて、17 世紀初頭の日本を取り巻く国際環境を数学史から理解できる史料にもなっています。

多様性と国際性に富む『塵劫記』に親しむための第 2 回シンポジウムを開催します。これを機会に江戸時代の算術とその背後にある文化を理解してみませんか。是非ご参加を!!!



『塵劫記』：木のたかさはなかにみてつもの事
日本学士院蔵：請求記号 0557

第2回 2025 年4月 27 日(日曜日)

・基調講演

13:30~14:50 講師:四日市大学名誉教授 小川 東

演題:「珠算書としての『塵劫記』を読む~正しい読み方を探る」

・シンポジウム

15:00~15:30 テーマ:現代史から観る『塵劫記』の面白さ

コーディネーター:日本数学史学会副会長 張替俊夫

パネリスト:四日市大学名誉教授 小川 東

四日市大学関孝和研究所研究員 曾我 昇平

四日市大学関孝和研究所研究員 中井 保行

・会場:京都橘大学(京都市山科区大宅山田町 34)の啓成館 101 教室(予定)。リモート(Zoom)による視聴も可能です。大学構内に駐車場はありません。

・参加費:無料

・申し込み:直接会場へお越し下さい。リモート(Zoom)視聴の場合は日本数学史学会のホームページ (<https://suugakushi.com>)から申し込んでください。

・協力団体:数学教育協議会 全国数学教育学会 日本科学史学会 日本数学会 日本数学教育学会 吉田光由悠久会 四日市大学関孝和数学研究所 和算問題教材化研究会 各県和算研究会 京都の寺院

・後援(予定):京都府 京都府教育委員会 京都市 京都市教育委員会